

令和2年度（2020年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	摂津市商工会
	代表者職・氏名	会長 中川 廣司
	所在地	〒566-0021 大阪府摂津市南千里丘 4番35号3階
	担当者	職・氏名 事務局長 島内 嘉紀
	連絡先	TEL（直通）： 06-6318-2800 Fax： 06-6318-2555 E-mail： info@settsu-sci.jp
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率）		昭和37年6月19日 9名（経営指導員9名）（令和3年4月1日現在） 摂津市 4,082（H28年経済センサス） 2,806（H28年経済センサス） 1,894（令和3年3月31日現在） ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること
□主な事業概要（定款記載事項等）		
① 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 ② 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 ③ 商工業に関する調査研究を行うこと。 ④ 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 ⑤ 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 ⑥ 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 ⑦ 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 ⑧ 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 ⑨ 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 ⑩ 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑪ 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。 ⑫ 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 ⑮ 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 ⑯ 輸出品の原産地証明を行うこと。 ⑰ 前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。		

(1) 事業の目標

- ◆経営相談支援事業については、小規模事業者の事業意欲の向上と意識改革を促し、消費者ニーズや地域に根差した商品・サービス提供による持続的発展を目標に事業計画策定など事業者と一緒に支援していくワンストップサービスによる経営力向上のための支援を行う。
- ◆専門相談支援事業については、専門的で高度な問題の解決におけた専門家による予約制の個別相談を実施し、企業経営の安定化を図るとともに、更なる活用に向けてのPR活動と利用促進に努める。
- ◆地域活性化事業においては、企業の経営の改善と安定に努めることを目的に、事業者間の交流・連携の促進、人材育成などニーズが高いと思われるものや、時代にマッチした情報提供と支援を行うことにより、経営の安定と発展に向けてのチャンスを提供するとともに、課題解決への具体的な取り組みができるよう支援する。また、事業を通じてビジネスチャンスを提供し企業の成長を促す。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

- ◆経営相談支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響で通常の営業活動ができない状況となり、事業継続するための給付金・無利子融資など緊急的な支援を始め、コロナを乗り越えていくための新分野展開や業態の転換、転換線リスク型ビジネスの促進などへの取り組みを支援しました。また、高度な支援が必要となる相談については、専門家と連携して支援しました。
- ◆専門相談支援事業では、企業が抱える専門的な課題の解決に向けて専門家を活用できるよう、専門相談のPRに努めるとともに、原則として毎月1回の相談日を設けた。また、法律相談など急を要する相談内容がある場合は電話相談などで対応をした。
- ◆地域活性化事業については、感染対策と事業所支援を両立させるために、各種セミナー・交流会をオンラインで参加できるようにした。新型コロナウイルス感染症や自然災害による経営リスクを軽減するための事業継続計画（BCP）策定セミナーをはじめ、製造業を中心とした高い技術力をもった事業者に対して、事業者間交流・商談会をオンラインで開催して促進するとともに、後継者や人材に悩む事業者の事業承継、人材育成や地域就労を支援する事業を実施した。小売・飲食業については、感染対策で実施した100円商店街や摂津まちゼミなど個店の魅力を情報発信することで、魅力的な店舗を増やしていくとともに、創業者の新規参入を促進する事業を実施した。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

- ◆事業計画作成支援は74件、金融支援103件とコロナ禍で大変厳しい経済状況の中、ウイズコロナ・ポストコロナの変化に対応していくために資金調達や販路開拓まで多岐にわたる支援をすることで、事業者の課題解決に貢献できた。
- ◆専門相談支援事業では、専門家の活用により専門的で高度な問題の解決に取り組み、企業の健全な経営に寄与できた。
- ◆地域活性化事業ではクラウドファンディングやテレワーク導入など事業者の事業継続・変革に必要な情報を提供することで、新たな事業展開に取り組むきっかけを提供するとともに、事業者間交流・連携事業により新たな価値の発見やビジネスチャンスの提供や就労支援交流やマッチング事業により求人難に貢献することができた。摂津ブランド事業は小大変厳しい経済状況の中で2社認定し事業所と共に販路開拓に取り組んだ。またスクラッチカードなどの販売促進事業を実施することで、事業者の売上拡大と地域商業の活性化に貢献した。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

- ◆経営相談支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響でビジネスのオンライン化や生産性向上などデジタル化や経営資源の集約化が必要など持続的な経営を行っていく上で大きな課題となっている相談が多くなってきている。コロナ禍でピンチをチャンスと捉え事業承継税制の特例措置を活用して、事業のスムーズな承継を支援する必要がある、事業承継やBCP策定支援などに長期的な視点で増加させていきたい。
- ◆専門相談事業においては、感染症対策・働き方改革の影響で法律と労務相談が多く、契約トラブルなど緊急的な相談内容が非常に多く、複数回の相談が見られたことから今後の無料相談の回数の見直しも必要となってくる可能性がある。

(5) 次年度の取り組み

◆経営相談支援事業では、コロナで地域社会の仕組みや価値観が大きく変化する中、事業者の課題解決に向けて取り組むとともに、潜在的な課題の掘り起こしと支援の拡充に努めることで、自ら成長するために事業意欲を持って、市場や顧客ニーズなど新たな需要にきめ細かく対応し、地域に根差した商品・サービスや付加価値の高い技術力の提供、人材や技術力を承継できる小規模事業者の増加を目指す。また小規模事業者に対する事業者BCP策定を支援していくとともに新型コロナウイルス感染症による収入減少や事業承継などの課題に積極的に取り組んでいきたい。

◆専門相談支援事業では、法務・労務などをはじめ、全ての経営項目で問題を抱えている事業者がもっとあると考えられるので、周知の徹底と活用促進に努め、事業者のニーズに合ったきめ細やかな支援を行うことに努めるとともに、経営相談事業への拡充を図る。

◆地域活性化事業では、市行政等と連携し、事業所ニーズの高い情報をタイムリーに提供するとともにビジネスチャンスの提供等を行い、企業経営の安定と発展、地域活性化を目指すとともに、課題解決への具体的な取り組みができるよう支援する。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 摂津市商工会

I 経営相談支援事業					
支援のポイント・成果					
<p>新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた業種を中心に、融資や給付金申請などの緊急的な資金繰りに関する相談が多かった。また雇用調整助成金の申請や職場内の感染対策などの労務支援、オンラインを活用した非対面ビジネスなどビジネスモデルの転換や新分野展開など事業計画作成に対する支援ニーズも非常に高かった。市内小規模事業者の抱える課題の解決に向けての提案に取り組むとともに、各種支援機関との連携を図り、事業所が抱える経営課題の中でも、高度・複雑な課題に対応するために専門家を活用し、定期的な相談だけでなく経営者の要望に随時対応できるような体制作りにより小規模事業者の抱える課題を抽出し、専門家のアドバイスによる問題の迅速な解決と経営の改善に役立てた。ワンストップ的な機能を果たすことによって、企業の経営の安定・発展を目指すとともに、経営革新や事業承継、創業、新事業展開など、高度で専門的な経営課題への対応を迅速に支援することにより、商工会の信頼を高めることができた。</p>					
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	280	279	99.6%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	80	82	102.5%	5
金融支援（紹介型）	支援数	40	43	107.5%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	54	60	111.1%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	0	0		-
資金繰り計画作成支援	事業所	1	1	100.0%	3
記帳支援	事業所	7	7	100.0%	3
労務支援	支援数	43	43	100.0%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		-
マーケティング力向上支援	事業所	2	0	0.0%	-
販路開拓支援	支援数	12	13	108.3%	4
事業計画作成支援	支援数	67	74	110.4%	5
創業支援	事業所	7	7	100.0%	3
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	20	20	100.0%	4
コスト削減計画作成支援	事業所	1	1	100.0%	3
財務分析支援	事業所	0	0		-
5S支援	事業所	0	0		-
IT化支援	事業所	2	2	100.0%	3
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		-
事業承継支援	事業所	2	2	100.0%	3
災害時対応支援	事業所	0	0		-
フォローアップ支援	事業所	70	70	100.0%	5
結果報告	事業所	280	279	99.6%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

事業所が抱えるさまざまな法律・税務・労務・経営の問題の中でも、高度かつ専門的な課題に対応するために専門家を活用し、定期的な相談だけでなく経営者の要望に随時対応できるような体制作りをし、専門家の具体的なアドバイスにより事業所がかかえる高度な課題を迅速に解決し、企業の経営の改善と経営基盤の強化に役立てることができた。

また、専門的分野の支援から事業所の抱える問題が軽減でき、内容としては満足いく成果が得られている。昨年は新型コロナウイルス感染症によるトラブル・働き方改革等で法務相談、労務相談が多かった。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談支援	継続	回数	11	11	100.0%	5
労務相談支援	継続	回数	7	8	114.3%	5
経営相談支援	継続	回数	5	5	100.0%	5
その他相談支援	継続	回数	2	4	200.0%	5

4. 地域活性化事業

摂津市商工会

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

◆吹田商工会議所、高槻商工会議所、茨木商工会議所、島本町商工会との5か所の広域で実施した「クラウドファンディング活用セミナー」では小規模事業者や学生が挑戦した実際のクラウドファンディングのプロジェクト参考にアイデアを自社のビジネスにどのように活用するか検討してもらい、40名の参加で研修内容も好評を得た。

◆障がい者求人・求職マッチングフェアは、コロナ感染対策して実施、参加企業8社、面接参加者83名と目標数値をクリアし、採用決定者も5名という実績で、障がい者の求人・求職に貢献できた。

◆事業者の支援においては、直接または団体を通じての情報提供等の支援を行うとともに、販売促進イベントとして小規模店舗参加型スクラッチカード事業を178店舗の参加で実施した。また、摂津まちゼミには26店の参加で、新型コロナウイルス感染状況が落ち着いた11月に開催、オンラインも活用して小規模事業者には非常に効果の高い販路開拓事業となっている。

◆摂津ブランドでは摂津で製造された最終製品を「摂津優品（せつつすぐれもん）」とし新規に2商品を認定し合計12商品となったが、イベント出展が中止となり、リアルでの販売促進はほとんどできなかった。代わりにホームページをリニューアルして、WEBで発信する方向に転換、摂津市ビジネスマッチング交流会もオンラインで開催してコロナ禍で交流が難しい販路開拓を実施した。

◆BCP策定セミナーはコロナ禍という厳しい状況の中で、オンラインでも集客した結果20社の参加で感染症や南海トラフ巨大地震などの事業者が講じるべき防災・減災対策の重要性を認識してもらった。

■地域活性化事業全般については、緊急事態宣言などでセミナー会場の集客、交流が厳しく制限される中、オンラインで開催することで、経営力の乏しい中小零細事業所等の従業員や事業主が本セミナー等を場所を問わず受講できたことで、営業力を強化したり経営のあり方を見直したり販売力を高めて売上の増加を目指したりするとともに、各種事業・セミナーを通じ、具体例や情報を理解することにより、課題の抽出や問題の解決、経営力の強化等に役立てた。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	摂津市ビジネスマッチング交流会	75	46	61.3%	80.4	自社紹介発表又は商談できた事業所数	25	20	80.0%	4
○	BCP策定セミナー	24	19.5	81.3%	95.0	事業継続計画等の策定企業数	24	19.5	81.3%	5
○	摂津市地域就労支援交流会	12	9	75.0%	100.0	面接をしてもよいと思う人材が見つかった	50%	50%	100.0%	5
	摂津ブランド事業	14	12	85.7%	62.5	認定製品をPRできた事業所	8	8	100.0%	4
	小規模店舗参加型スクラッチカード事業	180	179	99.4%	81.0	期間中、来客が増えた事業所の割合	50%	38.2%	76.4%	5
	摂津まちゼミ	48	44	91.7%	85.4	販売促進に対する意識向上ができた事業所	70.0%	88.8%	125.7%	5
	製造業経営者支援事業	15	15	100.0%	94.0	取引、連携などが行われた事業所の割合	60%	80%	133.3%	5
○	感染症対策による安心安全な100円商店街	3	3	100.0%	74.3	コロナ対策と販売促進に対する意識向上ができた事業所	70%	69.4%	99.1%	5
○	障がい者 求人・求職マッチング	9	8	88.9%	95.0	面接から採用に至った人数	5	6	120.0%	5
○	摂津市おしごとフェア	10	9	90.0%	82.0	参加企業のうち採用に至った企業数	3	5	166.7%	5
○	事業承継セミナー	20	10.5	52.5%	81.8	相続や事業承継の基礎知識の理解度	70%	78.1%	111.6%	4

(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度（点）	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	承継・創業経営者交流研修	40	16	40.0%	100	事業改善又は新規事業取組に対する意識改革度	80%	100%	125.0%	3
○	クラウドファンディング活用セミナー	30	40	133.3%	97.5	参加企業のうちクラウドファンディング活用検討に至った企業数	10	38	380.0%	5
○	人財力強化（人材育成）事業	20	11	55.0%	88.6	セミナーの内容を自社で取り組もうと考えた事業所の割合	70.0%	81.8%	116.9%	4
○	労働法改正対応セミナー	50	52.5	105.0%	84.8	自社の労務管理の見直しに役立つと思った事業者の割合	70.0%	80.0%	114.3%	5
○	テレワークの導入セミナー	35	15.5	44.3%	87.1	テレワーク等の雇用について理解できた事業者の割合	70%	87.1%	124.4%	3

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

摂津市商工会

事業名		摂津市ビジネスマッチング交流会							
想定する実施期間		26年度～年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	摂津市は、市域の面積の半分以上が工業や準工業地域で、現在、4,000社を上回る事業所が市内で活動する産業都市であるが、従業員が9人未満の事業所が全体の73%を占めており、事業所間の連携を自発的にとっていくのは難しい。そこで、地域総合経済団体である商工会が行政・金融機関等と連携して、ビジネスマッチング交流会を開催することにより、新たな販路開拓及び事業所間の連携、相互の経営力の向上等を図ることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内の事業所(全業種)							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>■開催日時：令和3年3月3日(水) 15:00～17:00</p> <p>■会場：摂津市商工会 会議室</p> <p>■参加者数：63社64名</p> <p>市内企業の連携・販路開拓につながる機会として、摂津市オンラインビジネスマッチングフェアを摂津市・摂津市商工会・北おおさか信用金庫・(株)きたしん総合研究所で開催した。今年度はコロナ感染症により参加者の方にはオンラインでご参加いただいた。</p> <p>第Ⅰ部では、国立循環器病研究センターオープンイノベーションラボに入居し、医療ライフサイエンス分野に展開している企業様にお越しいただきご講演の生配信を行った。</p> <p>第Ⅱ部では、企業商談会・企業紹介プレゼンを開催。企業商談会は事前に商談を希望した企業同士のオンライン商談会を実施。企業紹介プレゼンは、プレゼン希望の7社に会場にお越しいただきプレゼンをしていただいている映像を生配信した。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	摂津市、北おおさか信用金庫、(株)きたしん総合研究所、摂津市商工会の4者で、企画、参加企業募集、会場設営、当日開催と共同で実施した。							
	④相談相乗								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	75	支援企業数(実績)	46.0	支援実績率	61.3%	満足度	80.4
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>摂津市ビジネスマッチングフェアは8回目の開催となり、今年度はコロナ禍であるためオンラインでの開催となった。前回に比べて参加企業数はほぼ同数の63社(昨年度66社)であったがオンラインでの開催であったためアンケートの回収が難しく回収できたのは45社46名であった。アンケート内容は、46名中16名が「満足」、21名が「ほぼ満足」、8名が「やや不満」、1名が「不満」と回答し、満足度80.4%と概ね良好であった。また参加の目的は「業界の情報収集」が17名で一番多く、次いで「ビジネスパートナーを探す」「人脈の拡大」「販路の開拓」がそれぞれ15名であり、「知人、友人から勧められて」が12名、「講演に興味があった」が9名、「店舗や商品の知名度向上」が3名と、「新商品のPR」が1名となっている。オンラインであったため自由に交流してもらうことはできなかったが、プレゼン・商談会を行った事業者は満足度も高くその後実際に話を詰めたなどの話を聞いている。当日プレゼンや商談会には参加しなかったが事業所と繋いでほしいという問合せも多くあり連携のキッカケを提供できたのが成果である。</p> <p>講演企業についての満足度も高く、平均満足度は84.8%であった。医療ライフサイエンス分野に展開している企業様に様々な中小企業と協業して取り組むソリューション型のビジネス創出についてご講演いただき今まさに取り組んでおられる内容をお聞きでき新たな取り組みをお考えの方の前向きな取組のための参考になった。</p>							
		自社紹介発表又は商談できた事業所数							
		数値目標	25社	実績数値	20社	目標達成度	80%		

	成果の代表事例	<p>今回は、連携をはかれそうな事業者が見つかった企業12社。対面でなかったため自由に交流してもらった場面が少なかったため連携先を見つけた事業所は少なかったが、商談会にご参加いただいた方からは後日改めて日時を設定し会って商談につながったとお話をいただいた。コロナ禍でマッチングできる機会が減っているが工夫をし、マッチングできる場を提供していきたい。</p>			
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)	目標達成度
実施結果	<p>課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)</p>	<p>次回、このようなビジネスマッチングフェアを開催しましたら、参加されますか？という問いに対して、「参加したい」が31社、「会場であれば参加したい」が8社、「参加したくない」が7社であった。（参加企業アンケートより集計）引き続き摂津市内企業同士のマッチングに対するニーズが高いことが伺える。今回オンラインでの開催となり、会場であれば同じ机の方と気軽に交流したり同業種の方との情報交換等ができるが、オンラインとなると自由に交流することができないため、コロナの状況によりますが次回はできる限り会場開催を検討したい。またオンライン開催となるとアンケートの回収率がどうしても悪くなってしまうため回収率を上げるための手法を考えていきたい。参加者を増やし、より交流や取引が活発になるように改善に取り組むとともに、事業者がその後取り組む際のフォローもしていきたい。</p>			

摂津市商工会

事業名		BCP策定セミナー						
想定する実施期間		2020 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	東日本大震災や平成30年度に発生した大阪北部地震、西日本豪雨、関西を直撃した台風21号による経営リスクに対する防災・減災意識の高まりや新型コロナウイルス感染症、地球温暖化による豪雨災害の多発や近年発生が予想される南海トラフ地震などのリスク及びその影響を軽減するための取組や対策として、中小企業においてもBCP策定することがますます重要となってきている。しかし、残念ながら、現状は、中小・零細企業はほとんど策定されていない現状である。そこで、今年6月に事業継続力強化支援計画の認定申請を摂津市と共に申請するとともに、摂津市内の事業者を対象にセミナーの開催を通じてBCP策定の重要性等の周知・普及促進を図る。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内商工業者 2,836者 (うち中小企業者2,832者、小規模事業者2,412者)						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日・令和2年10月29日(木) 14:00~16:00 会場・摂津市商工会 会議室 テーマ・事例に学ぶ!緊急時に強い会社、お店がやっていること 実施内容・1, これからの災害対策とは? 2, 事業継続力強化計画について 3, 超簡易版BCPを作る 4, 損保等を活用したリスクファイナンスについて 5, 本格的BCPの作成、感染対策の追加など支援サービスの紹介 参加者数・19社20名(会場7社8名、web12社12名)						
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 大阪府が推奨するBCP策定に関するガイドライン等、経営支援課経営革新グループよりご紹介いただいた。 ②広域連携 ③市町村連携 摂津市のHP掲載や公共施設へのチラシの配架など、本事業のPR面等で協力を得た ④相談相乗 個別の事業継続計画の策定支援を希望する事業者を東京海上日動火災保険で行う支援制度につないだ。						
	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	24.0	支援企業数(実績)	19.5	支援実績率	81.3%	満足度
事業の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	受講者アンケートでは、今回のセミナーを受講しての満足度について20名中15名が満足、4名がやや満足、1名が普通と回答し参加者全体の95%が満足との高評価でBCP策定の必要性を感じ意識が高まったの意見が多く寄せられた。全参加者が大阪府超簡易版BCPこれだけはシートを作成できたことは貴重な体験である。感染症対策についてもさらに知りたいとの声があり、新たな気づきや取り組みを考える良い機会になったことがうかがえる。緊急時の対応をおろそかにしていた事を反省し今後の展開に期待できる事業所も見受けられた。						
		指標	事業継続計画等の策定企業数					
		数値目標	24.0	実績数値	19.5	目標達成度	81.3%	
	成果の代表事例	具体的な事例は把握するに至っていないが、BCP策定の必要性を理解した、意識が高まった、本格的なBCP策定の検討をするとう感想をいただいているので今後成果につながると思われる。						
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	支援数は、コロナ禍にあり目標24のところ20にとどまったが、参加者の満足度が95%と高評価になっている。今後とも感染症対策をとりいれるなど講師と相談を重ねカリキュラムを充実させて普及啓発に努めたい。 また、今後摂津市鳥飼地域に河川防災ステーション建設誘致の動きがあり、ハード面に合わせソフト面でBCP策定のさらなる普及啓発に努めたい。						

摂津市商工会

事業名		摂津市地域就労支援交流会						
想定する実施期間		28年度～年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	景気が改善される中、少子高齢化も進み中小企業における人材確保は、ますます困難な状況にある。若年無業者、障がい者、一人親家庭の親、中高年齢者など、働く意欲があり、就業を希望しているが、様々な事情で働くことに不安を持つ者に対して、従来の採用形態では、身近な地域の中小企業で働く場を確保することがなかなか難しい状況となっている。そのような中小企業における人材不足の解消を図るためには、企業側の就労希望者に対するニーズと就労希望者側の企業に対するニーズのギャップを解消し、双方歩み寄った人材を職業人として育成し、職場環境を整備し、自社の人材確保策につなげる仕組みが必要である。企業の生産性向上を図るとともに、様々な人材を受け入れて戦力化していくことで、企業の競争力アップと活性化につなげることを目的とする。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域の人材確保に関心がある摂津市内全事業所の事業主および担当者。						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>助成金活用セミナー</p> <p>■開催日時：令和3年2月24日（水）14：00～15：30</p> <p>■会場：摂津市商工会会議室</p> <p>■参加企業数：12社（アンケート回収8社）</p> <p>社会保険労務士の方より助成金を活用してまずは現在の雇用を守る話、また新たに雇用を考える中で一人親家庭の親、高年齢者等を雇う時に利用できる助成金、大阪府の雇用促進支援金の話をしてもらい前向きな雇用を考えてもらえるような内容で実施した。</p> <p>医療事務講座</p> <p>■開催日時：令和3年3月5日（金）12：30～13：30</p> <p>■会場：摂津市産業支援ルーム</p> <p>■参加企業：1社（2名）</p> <p>■参加者数：5名</p> <p>調剤薬局からはマネージャーに参加してもらい、調剤薬局事務就業希望者に実際の業務を具体的に説明してもらった。その後別室にて個別に面談してもらい、実際就業面接時には聞きにくいことなどをざっくばらんに話してもらい双方の理解とその後の就労につながるきっかけづくりの場となった。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>						
	①府施策連携	大阪府就業促進課就業支援グループとの連携、地域において就職を希望する者と中小企業担当者との交流会を通じた双方ミスマッチを解消することによる就業促進						
	②広域連携							
③市町村連携	地域就労支援センターと連携、地域において就職を希望する者への事業の周知、参加の働きかけなど募集活動を行う。							
④相談相乗								
計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	2	支援企業数(実績)	1.0	支援実績率	50.0%	満足度	100.0
事業の実績	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>・医療事務講座は、実際に面接で聞きにくいことも聞ける双方にとって良い場であったと思われる。参加企業アンケートでは、2名中1名が「満足」1名「おおむね満足」の回答で、満足度100%と概ね良好であった。また参加の目的は「若手採用」が1名、「求職者ニーズの把握」が1名となっている。後日個別面談をしてもよいと思われた方は見つかりましたかという問いには、1名見つかったと回答し一定の効果があつた。就労希望者のアンケートでは「満足」が2名、「ほぼ満足」が2名、「どちらとも言えない」が1名で満足度は80%と良好であった。企業の説明と面談会で仕事や会社内容が理解できたかという問いには、「理解できた」が4名、「ほぼ理解できた」が1名で、非常に高く、仕事内容や年齢、勤務形態、パソコンのスキルや患者さんとのコミュニケーションまで幅広い知識や経験が必要という事を具体的にイメージできたと思われる。5人中4名が参加企業に興味があり、3名が講習後に面接を希望しており、今後につながる結果となった。</p>						
		面接をしてもよいと思う人材が見つかった						
	数値目標	50%	実績数値	50%	目標達成度	100%		

目標達成度	成果の代表事例	参加企業は摂津市内に5店舗調剤薬局があり、その他大阪府内にも店舗を有している。数年前に参加いただいたことがきっかけで参加者の方を採用いただいた。現在も雇用継続し活躍しているとのこと。					
	その他目標値の実績	目標値	8	目標値	5	目標達成度	62.5%
		就労希望者交流会参加人数					
	計画に対する実績(数値)	目標値(計画)	10	目標値(実績)	8	目標達成度	80.0%
目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナー参加企業数						
	<p>・セミナー『助成金活用セミナー』は、会場及びオンライン配信でおこない参加企業数12社参加人数12名でありそのうちアンケート回収者は8名で、8名中8名が『満足・ほぼ満足』と回答し概ね良好な満足度であった。今後の業務に役立てることができると回答いただいた方も8名おり、中には『新規スタッフの募集をしているところなので、活用を検討したい』と回答している方もおり有効な地域の人材採用・活用を学んでいただくことができた。</p>						
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>今回、求人企業と就労希望者個別に色々な事が聞ける場をしたことで、企業、就労希望者ともに今後の就労につながる良い交流になった。1名あたり5分～10分程度の交流時間であったが、職場環境や就労形態などかなり詳しく就労希望者のニーズを聞くことができ、採用のミスマッチも事前に防ぐこともできるようになった。参加企業が少なかった原因が、病院にも打診をしていたがコロナの影響で参加見合わせとなったためである。コロナの影響で雇用が厳しい状況であるが、次年度も地域における若者・女性・中高年齢者等の求職者の人材確保を積極的に進めてもらうための企業向けセミナーを実施すると共に、採用企業の裾野を広げるとともに、企業で必要な人材のニーズを収集して、ニーズにあった就労支援事業を展開していく。</p>					

摂津市商工会

事業名		摂津ブランド事業								
想定する実施期間		29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>摂津市には約4082の事業所があり、製造業者は708社となっており（H28経済センサス調べ）、人口1人当たりの製造業事業者数は北摂一を誇るものづくりのまちである。大手企業の下請けの事業者が多く、生産のグローバル化により海外移転が進んでいる実情があり、今後の事業を発展・継続するうえで、下請け100%からの脱却や自社の看板製品開発が必要と感じておられる事業所も多い。</p> <p>そのために摂津市発の製品についての発掘および効果的なPRが必要であるため、市と共同で摂津ブランドを立ち上げ、摂津市内で作られている製品をブランド化し、効果的なPRにより販路の拡大や新規顧客の獲得等を目指すとともに、市民の郷土愛を育み、地域振興、商工業発展を目指す。初年度である2017年度については、飲食物を除く最終製品（飲食物を除く）をメインとして、認定したが、2018年度以降については、飲食物については、摂津市特産品である鳥飼なすを使った商品を限定としてを認定の対象とした。</p>								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内製造業者等								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>摂津市及び摂津市商工会ほか有識者により中小企業応援プロジェクト！摂津ブランド認定委員会を立ち上げ、「摂津優品（せっつすぐれもん）」の名称で摂津ブランド製品の募集を行った。</p> <p>摂津ブランド事業の内容説明等のほか、申請書の記載方法のアドバイス等についても実施。 募集期間：令和2年11月16日（月）～12月15日（火） 認定審査会：令和3年1月15日（金） 認定式：令和3年1月26日（火） 摂津ブランド認定企業の特典として</p> <p>①展示会等：「匠企業」企画展 in MOBIO 2020 ～高槻・茨木・摂津・守口・門真「匠企業」展示・商談会～ 展示会出展 日時：令和2年11月6日～26日</p> <p>②認定証およびブランド認定ロゴの付与を行った。</p> <p>③市ホームページ等から認定製品のPRを行ったほか、パンフレットも作成し、QRコードなどから商品購入が可能となるようにした。</p> <p>④市による展示会出展料をはじめとした広報PR費用の補助や個別による経営指導を行った。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>								
		①府施策連携								
		②広域連携								
	③市町村連携	市産業振興課と共同実施事業								
	④相談相乗	他事業においてカルテ化（カルテ件数5件）								
計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画) ※上ハンズオン、下販路開拓	3	支援企業数(実績)	2	支援実績率	66.7%	満足度	62.5%		
		11		10		90.9%		62.5%		
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	指標	自社の強みを踏まえて広くPRできた事業所								
	数値目標 ハンズオン	2	実績数値	1	目標達成度	50.0%				
	指標	認定製品をPRできた事業所								
	数値目標 販路開拓	8	実績数値	8	目標達成度	100.0%				
成果の代表事例	(株)A社が認定後、BtoBからBtoCへのチャレンジを行うよう提案した。成果としては、市内店舗と連携し、販売が可能となり、今後についても引き続きBtoCへ積極的チャレンジを実施することになった。									
実施結果 (課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか))	<p>本年度については、新型コロナウイルスの影響により、展示会等からのPRがあまりできなかった。また、関西大学との連携が教授の異動により全くできなくなってしまった。</p> <p>J：COMTV放送などからのPRはでき、今後も取り上げてもらえるようにはなった。</p> <p>HPのリニューアルにともない、動画等が市の常設展示にも力を入れPRしていきたい。</p> <p>希望としては、コロナの状況判断にもなるが、認定企業の交流や連携を目指した交流会の実施も今後の検討としたい。</p>									

摂津市商工会

事業名		小規模店舗参加型スクラッチカード事業							
想定する実施期間		29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>摂津市内は4082社程度の事業者があり、小売・飲食で851、サービス関連で704と合計1555社が本事業の対象である。(H28経済センサス調べ)</p> <p>市内には商店連合会加盟の商店街が4カ所、任意の商店街組織が2カ所あるものの、商店街単位でのイベントでは、商店街会員しか参加できない。</p> <p>そこで、摂津市では平成21年度から継続して商品券発行事業を実施。平成年度には国の事業として開催するものの、商品券事業は費用や労力負担が大きく、また消費者の利用先の大半が大型店に流れてしまっていた。</p> <p>本事業は、小売業・飲食業・サービス業等の小規模事業者をメインターゲットとし、スクラッチカード事業を行うことで、参加店舗については、消費者とのつながりを強化し、今後の売上増加とリピーターの確保に繋げることを目的とする。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内小規模小売業、飲食業、サービス業等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>セッピースクラッチ事業(場所:摂津市内各店舗)</p> <p>日程:令和2年11月1日(日)～12月10日(木)</p> <p>参加店舗数:179店舗</p> <p>スクラッチカードを約7.3万枚発行。179参加店舗に300枚を均等配布。</p> <p>※余分に必要な事業所には1000円/100枚で販売。43店舗194セットが購入された。</p> <p>顧客の購入価格500円ごとにスクラッチカードを1枚進呈。(最大5枚まで)</p> <p>スクラッチカードのあたりは300円の買い物券(約2.8万枚)1000円の買い物券(約1.4千枚)を発行。</p> <p>また、はずれ券を利用した特典(すべて参加店舗負担)についても102店舗が参加。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	市の協力し、参加店の募集、商店街との調整、広報活動、換金作業等を分担し実施。							
	④相談相乗	他事業においてカルテ化15件							
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	180	支援企業数(実績)	179	支援実績率	99.4%	満足度	81.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>本事業については、もともと店舗により賛否が分かれる事業であるが、本年はコロナ禍での実施ということもあり、当選率を例年の倍にしたため、参加店や顧客にはおおむね好評であった。顧客とのコミュニケーションツールとして利用し、店舗の人も楽しみながら使っている事業所が結果を出せているようであり、自身の努力や負担により上手く活用されている店舗と、やってもらって当たり前の態度で参加している店舗では本事業の成果において、差が生じている。</p>							
		指標	期間中、来客が増えた事業所の割合						
		数値目標	50.0%	実績数値	38.2%	目標達成度	76.4%		
成果の代表事例	<p>正雀本町商店街で営業しているA商店においての声として、現状で個店や組織での販促活動があまりできなかったのが、こういった機会はありがたく、新規顧客にも繋がった。最終の駆け込み需要も多く、新規顧客獲得に繋がったほか、小規模な店舗としては非常に多くのお客様の利用があった。</p>								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>アンケートのとり方が悪かったせいか、売上や集客に繋がっているにもかかわらず回答いただけてない部分も多く感じた。(アンケート未回答も非常に多く20件あった)</p> <p>今回、新型コロナウイルスの影響下での消費喚起のため、当選率を20%から40%に上げたため、事業者、消費者ともに大変好評であった。</p> <p>コロナ禍で実施できたことも、大変評価された。</p> <p>次年度についても、同様の時期での開催を予定しているため、感染防止対策を徹底しながらの開催をしたい。</p>							

摂津市商工会

事業名		摂津まちゼミ（摂津市商業活性化事業）							
想定する実施期間		27 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>摂津市は、まちゼミの主な対象となる小売、飲食・サービス業など1555件ある。(H28経済センサス調べ)</p> <p>摂津市内の商業の現状としては、市商連加盟の商店街4組織、任意の商店街組織が2組織しか無く、商店街以外の事業者が市内に広範囲に点在しているのが特徴である。市内の各小規模事業者が売上拡大および事業を継続していくためには新規顧客の獲得と、リピーターの確保が必須である。「まちゼミ」事業は商店街イベントとは違い、点在する個々の店舗でも参加が可能であるため、本市の商業等の状況にあった事業である。</p> <p>また、ネット通販や大型店には価格や品ぞろえで対抗が不可な小規模事業者については、まちゼミのコミュニケーションの中から「この人から買いたい」「この人から買ったら安心」と消費者に思ってもらえる「人でモノを売る」ことが可能となるとともに、消費者のニーズを聞き取る機会となるイベントであり、個店の活性化により店舗力のアップだけでなく、周辺地域の活性化に繋げることを目的とする。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内の商店街および摂津市内点在する1555事業所以上。主に小売及びサービス業など。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>交流会形式セミナー1回目(場所:摂津市商工会) 日時:令和2年9月14日(月)19:00~21:00</p> <p>内容:まちゼミ交流会研修 講師:〇社 代表 MY氏 参加者:11社(13名)支援企業数12</p> <p>交流会形式セミナー2回目(場所:摂津市商工会) 日時:令和元年10月12日(月)19:00~21:00</p> <p>内容:まちゼミ交流会研修・コロナ禍での実施の注意点 講師:〇社 代表 MY氏 参加者:13社(15名)支援企業数13</p> <p>摂津まちゼミ(場所:摂津市内各店舗)※コロナ対策を鑑み、例年の2月実施を変更。 日程:令和2年11月1日(日)~30日(月) 参加数:25社 ※コロナウィルスによる未実施1 参加顧客数:155人(組)※前回239人(組) グループクーポン:17社</p> <p>まちゼミ参加者に限定クーポンを発行まちゼミ実施期間+1か月の利用期間を設けて実施。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	市の後援を得るとともに、小中学校配布を行った。							
	④相談相乗	他事業においてカルテ化(カルテ件数10件)							
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画) ※上セミナー、下まちゼミ実施	18	支援企業数(実績)	19	支援実績率	105.6%	満足度	88.8%
			30		25		83.3%		82.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	指標	販売促進に対する意識向上ができた事業所						
		数値目標 セミナー	70%	実績数値	88.8%	目標達成度	126.9%		
		数値目標 まちゼミ	70%	実績数値	88.0%	目標達成度	125.7%		
成果の代表事例	<p>新型コロナウイルスの影響により、顧客が激減しているA社において、オンラインまちゼミを実施。オンラインは慣れていないということなので、事前に個別でオンラインの実施方法のレクチャーを行ったため、無事実施できた。参加者自体は2名と少なかったものの、今後の取組みのきっかけとなったと大変喜ばれたとともに、同系列店での取組み事例として、摂津のオンラインまちゼミ話題になったようである。</p>								
実施結果	<p>新型コロナウイルスの影響により、夏休みが無くなったため、Kids&親子まちゼミの実施ができなかった。また、まちゼミ自体も例年どおりの2月実施では最も流行する時期であることを想定し、急遽11月開催としたが、後半は新型コロナの増加が見受けられた。</p> <p>個人特定ができる事業であるものの、参加者数は大幅減となってしまった。また、今回初めて一部の事業所でオンラインまちゼミを開催するも参加者はあまり増加しなかった。</p> <p>次年度は、9~11月で全国一斉まちゼミを実施予定であるため、本会もその時期に開催したい。また、一部要請はあるため、夏休みKids&親子まちゼミの実施も選択肢として残したい。</p> <p>事業としては今までの販促イベントとしては非常に大きい効果があるものの、手間暇と費用が非常にかかる事業である。ただ、現状の商業施策では、これしかないと言える状況であり、今後についても継続していきたい。今回まちゼミクーポンを実施したが、効果は現状では不明な部分があり、5~6月に交流会による情報交換会を実施し、クーポンの継続および新企画の検討を行いたい。</p> <p>また、例年2月実施であるが、コロナウィルスやインフルエンザの流行期であり、実施時期が適当であるかの判断をする必要がある。</p>								

摂津市商工会

事業名		製造業経営者支援事業								
想定する実施期間		20 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	摂津市内の製造業は708社ある。(H28経済センサス調べ) また、人口1人当たりの製造業事業所数が北摂一を誇るものづくりのまちである。 ただ、製造業の経営者にとって、製造業者の集まりでの交流などによる情報交換や協力事業を実施する機会が少ない。そこで、参加者主導による研修事業の検討や展示会への出展、他団体との交流などをとおして、取引や横のつながり、情報交換・意識改革などを行うことにより、今後さまざまな形で経営に役立てることを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業を中心とした708社								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	4月～3月の間で、19時より摂津市商工会館をメインの場所として横のつながりや情報交換を行うための会を6回その日に議長担当者が議題を決定し開催。 ・4/9・5/14・6/11・1/9・2/18(中止) 地域イベントへの出展(中止) ・7/9 摂津市商工会 議題「コロナ対策について」 ・9/10 摂津市商工会 議題「アフターコロナに備え、何をするべきか」 ・11/12 摂津市商工会 議題「摂津の小さな製造業の働き方改革」 ＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞								
		①府施策連携								
	②広域連携									
	③市町村連携									
	④相談相乗	参加した事業所の中でカルテ化されている件数(2件)								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	15	支援実績率	100.0%	満足度	94.0	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今年度は新型コロナウイルスの為、4回しか開催できなかった。製造業でもコロナにより影響を受けている企業が多く平均20～30%の売上ダウンであった。そのため、議題もコロナ関連が多く、「売上が大きく落ち込んでいる企業と小さい企業との差」や「この現状を乗り越えるために今できること」から「昼食時に密にならないための小さな工夫」まで直接顔を併せているからこそできる濃い内容であった。また、抗体検査を体験してみたり、商工会からもコロナ関係の給付金、助成金情報を都度報告し、知らずに申請できなかった状態を無くすように努めました。そうした中でも参加企業が取引のみならず、他社のコロナ対策事例を自社に取り入れる等の連携が見られました。								
		指標	取り引き、連携などが行われた事業所							
		数値目標	60%	実績数値	80%	目標達成度	133.3%			
	成果の代表事例	参加企業の1社はコロナ禍の中で営業ができず売上が減少した。また、仕入先の企業が生産調整に入り併せて減産せざる得なくなった。そこで雇用調整助成金、持続化給付金、家賃支援金、休業要請外支援金、中小企業者雇用継続支援金を紹介し受給することができた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	令和2年度はコロナ関係の議題が多く、現在も終息する気配は見られないため、コロナ対策が中心となりそうである。しかし、コロナ後の展開を見通しての議題も展開していきたい。今後も他の地域活性化事業をはじめ、研修会や他団体等との交流会、人材面や補助金等各種施策の紹介、さまざまな面からのサポートを行っていきたい。								

摂津市商工会

事業名		感染症対策による安心安全な100円商店街（摂津市商業活性化事業）																													
想定する実施期間		2020年度～2020年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																													
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>摂津市にある4商店街については、新型コロナウイルスの影響による外出自粛等の影響により、これまでにない打撃を受け、集客や売上が大幅に減少傾向にある。</p> <p>また、摂津市内の飲食店でもクラスターが発生していることから、商店街の事業主に新型コロナ感染症対策の徹底を啓発素材を掲示しながら行い、安心して商店街に来てもらうことを周知する。それに伴い、本格的な感染が拡がることが予想される冬に備え、11～12月頃に感染症対策を周知し、行った上、100円商店街を実施する。</p> <p>100円商店街事業はこれまで商店街に来たことが無い、関心を持たない顧客に対して、100円商品販売することで店を知ってもらうとともに、お店に入ってもらうきっかけを作り、間口を広げることにより、これまで入り難かった商店街のお店に入りやすくする、ついで買いを狙うなど、多くの効果が見込まれる。</p>																													
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>摂津市内の①千里丘ことぶき商店街②正雀駅前商店街③正雀本町商店街の3商店街に加え、④とりかい商店街（係数10未満）の4商店街にある飲食・小売・サービス業等をメインとした約68店舗を対象とする。</p>																													
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>大阪府のコロナ啓発素材として、のぼりを各商店街に、ポスターを商店街加盟各店舗に、消毒液を全事業所に配布し実施。希望される店舗については、大阪府の「感染防止ステッカー」10件、「コロナ追跡システム」2件の活用サポートを行った。</p> <p>商店街感染症対策等支援事業特設サイトの商店街レポートから感染症対策を行っている商店街であることをPRした。</p> <p>参加店舗の多くに対し、GOTO商店街事業からの支援も行った。</p> <p>【新型コロナウイルス啓発事業】 日時：令和2年9月25日～のぼり・ポスター・消毒液を商店街68店舗に配布し、全振連公表の新型コロナウイルス対策について、守りながら営業をするよう指示を行った。</p> <p>【100円商店街事業】 全振連公表の「商店街における感染症防止対策に向けた基本的な方針」を遵守し実行。各店舗のイチオシ商品を店頭において100円で販売し、店舗のPRを行った。 日時：令和2年12月5日（土）10：00～ ①千里丘ことぶき商店街（10店舗） ②正雀駅前商店街（8店舗） ③正雀本町商店街（12店舗） ④とりかい商店街（6店舗） 計 36店舗により実施</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="5">商-27 商店街の感染症対策の促進・・・感染防止啓発素材の提供を受け、商店街や各店舗に感染症対策を普及させた。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="5">後援および窓口や広報紙を使った広報支援。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="5">他事業においてカルテ化（カルテ件数1件）</td> </tr> </table>						①府施策連携	商-27 商店街の感染症対策の促進・・・感染防止啓発素材の提供を受け、商店街や各店舗に感染症対策を普及させた。					②広域連携						③市町村連携	後援および窓口や広報紙を使った広報支援。					④相談相乗	他事業においてカルテ化（カルテ件数1件）				
	①府施策連携	商-27 商店街の感染症対策の促進・・・感染防止啓発素材の提供を受け、商店街や各店舗に感染症対策を普及させた。																													
②広域連携																															
③市町村連携	後援および窓口や広報紙を使った広報支援。																														
④相談相乗	他事業においてカルテ化（カルテ件数1件）																														
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	3	支援企業数(実績)	3	支援実績率	100.0%	満足度	74.3%																						
事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>本事業は、大がかりな商店街イベントのように商店街の代表や担当者だけに事業に対する負担がかかるわけではなく、また各個店への負担も最小限で済ませることができるイベントでありながら、販促効果があることから根強いニーズがある。今回についても100円商品しか売れない店が多かったものの、一部リピーター確保ができています。また、コロナ禍で実施できたことが大きいという声を多数いただいた。</p>																													
	指標	コロナ対策と販売促進に対する意識向上ができた事業所																													
	数値目標	70%	実績数値	69.4%	目標達成度	99.1%																									
事業の実績／目標達成度	成果の代表事例	<p>A商店において、本事業が新型コロナウイルスの緊急事態宣言発出後、すぐの事業となったため、既存の高齢の顧客が減ってしまったが、本事業により、若い顧客に来店いただき、リピーターに繋がった。コロナ禍でのリピーター（顧客の若返り）は非常に有意義なイベントになったと言っていた。</p>																													
	実施結果 (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>本事業において、各商店街に職員の配置を行ったものの、顧客が夢中になり、ソーシャルディスタンスの徹底ができなかった部分があった。100円商品しか売れない店が多かったことが反省点であるが、店舗の商品力ややる気によっては、リピーター確保に繋がっている。</p> <p>次年度については、一般事業での実施を検討していきたい。</p>																													

摂津市商工会

事業名		障がい者 求人・求職マッチング								
想定する実施期間		16 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	障がい者は採用募集企業とのマッチングの機会が少なく、また限られる状況のため、その機会を提供し市内中小企業への雇用確保と障がいを持った求職者の雇用促進を図ることを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内事業者と障がいを持った求職者								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和2年9月11日(金)13時～16時 摂津市立コミュニティプラザにて開催。 参加者数 67名 面接応募総数 83名 参加企業数 8社 求人企業との就職面接会 大阪府による労働相談 (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部によるアビリンピックの情報提供								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	大阪府労働環境課、就業促進課等との連携して、協議、広報、会場設営、当日開催等を共に取り組む。							
		③市町村連携	摂津市、ハローワーク等と調整・協議をしながら、求人企業募集、会場設営、当日開催など役割を決めて進める。							
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	9	支援企業数(実績)	8	支援実績率	88.9%	満足度	95.0	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	事業者、求職者からのニーズは非常に高い事業であるが、コロナ禍での開催のため、多くの制限を受けました。出展希望社数は10社にも関わらず8社しか参加できず、好評の企業側からの1分間自己紹介スピーチもできない等影響は大きかった。来場者数は77名から67人へと減少したが、面接を完全予約制にする等中止せずに開催できたことは環境の変化に対応できたと思います。事業者も「満足」又は「やや満足」と回答され、採用活動の一環として大いに活用・満足していただけたと思います。								
		指標	面接者から採用に至った人数の割合							
		数値目標	5%	実績数値	6%	目標達成度	120.0%			
	成果の代表事例	面接応募総数は83名で、そのうち5名が今回のフェアで採用となった。企業数でいくと3社である。中でも、参加企業の1社は清掃スタッフを2人募集し、2人共に採用に至り上手くこのフェアを活用して頂けた事例である。								
その他目標値の実績	目標値(計画)	90人	目標値(実績)	83人	目標達成度	92.2%				
	障がい者就職フェアで企業との面接を行った人									
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	来場者数は77名から67名へと減少したため求職者に対する広報を検討したい。また法定雇用率改正の影響、企業の社会的責任から出展企業は出てきているが、中小・零細まではとても普及していないので、今後も募集する際に周知して、少しでも採用に前向きな企業を増やしていきたい。								

摂津市商工会

事業名		摂津市おしごとフェア							
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	働く意欲がありながら、就労を実現できない方のために、摂津市、ハローワーク茨木、大阪府総合労働事務所、摂津市商工会で開催します。大企業よりも中小零細企業は雇用の確保が問題であり摂津市商工会でも、おおむね正社員求人を対象とした3市1町合同就職面接会、障がい者求人を対象とした障がい者求職マッチングを既に実施しています。そこで本フェアはおおむね事務職、パート職を対象として企画します(求職者はおおむね女性向け、しかし女性限定ではない)。平成30年の配偶者控除・配偶者特別控除の税制改正等により働き方が多様化し、それに伴う就業ニーズが発生する可能性は十分あります。それらに対応した雇用、就業機会のため、お仕事お役立ちセミナー、就労相談、創業相談、就職説明会・面接会等を同時開催します。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、10社程の中小企業及び来場者数30名。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和3年3月10日(水)13時～16時 摂津市コミュニティプラザにて開催。 参加者数 34名 面接応募者数 34名 参加企業数 9社 求人企業との就職面接会 職場のお悩み相談、福祉の祖仕事相談、職業適性診断コーナー <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府労働環境課との連携して、協議、広報、会場設営、当日開催等を共に取り組む。						
		②広域連携							
	③市町村連携	摂津市、ハローワーク等と調整・協議をしながら、求人企業募集、会場設営、当日開催など役割を決めて進める。							
	④相談相乗	労務に関する相談を受ける。(カルテ化2件)							
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	10	支援企業数(実績)	9	支援実績率	90.0%	満足度	82.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	コロナ禍の中でも中小零細企業では、求人を出しても人が来ないなどの人手不足です。それを解決する為に、また地元の人を地元の会社に合言葉に「地産地消」を目指して開催しました。結果、2年前より参加人数は減少した(平成31年46人)が、面接件数は上昇した(平成31年23件)。小さなイベントだが濃い内容となり参加企業の満足度も上昇しました。							
		指標	参加企業のうち採用に至った企業数						
		数値目標	3社	実績数値	5社	目標達成度	166.7%		
	成果の代表事例	参加企業の1社は本フェアの直前に高齢者向け就職フェアにも参加している。高齢者向けの求人と、高齢者以外の求人を職種ごとで使い分け2つのフェアで共に人材を確保できました。本フェアを上手に使っていただいた事例です。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	30人	目標値(実績)	34人	目標達成度	113.3%			
	来場者(来場された方へのアンケートなどで把握)								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	求職者が集まりにくい就職フェアであるが、ネット告知、新聞折り込み広告など新しい取組を入れています。令和2年度は、会場周辺的一般家庭宅へ約6100部のポスティングチラシを配布してみました。その結果、自治体広報誌、自治体HPより周知効果が高い事が分かりました。来年度以降も集客が難しい求職者へのアプローチを考えていきます。							

摂津市商工会

事業名		事業承継セミナー～後継にエール～							
想定する実施期間		2020 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	高齢化と世代交代が課題の商工業者に向け事業承継にとって大切な要素となる相続対策について理解を深めて頂く事が大切です。高齢化が進み「事業承継」が大きな経営課題となっている今、相続は早い目の対策が必要です。「相続対策」は事業承継に関する税金対策等切り離す事のできない大切なポイントのひとつとされています。事業承継と相続で考えておくこと。現状や将来を一度立ち止まり考えるきっかけとなってもらいたい。相続が争族とならないために様々な相続のケーススタディから遺言の基礎知識を深め、現状とリスクへの対応を学び、整理すること。2.確認すること。3.準備を進めることができる状態となるよう支援する。また大阪府と連携して事業承継に悩む経営者の方へ相談相手となる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内全事業所、経営者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	テーマ：事業承継セミナー～後継にエール～ 日時：2020年8月24日（月）14：00～16：00 会場：摂津市商工会 3階会議室 第1部 相続セミナー 事業承継と相続についての基礎知識取得のためのセミナー。資産税対策と相続問題の対応をメインに学ぶ。他に相続が争族とならないような様々な相続のケーススタディや、遺言の基礎知識を理解して頂くセミナーを開催した。 第2部 事業承継セミナー2部は、事業承継の実践についてのセミナーの開催。1部の基礎知識をふまえ、事業承継計画の紹介。その成果として事業承継計画書が書けるようになる。そして事業承継計画書から自社を分析でき、今後の展望や事業承継をきっかけに新たな事業展開に向けての一步となる事ができる。事業承継を新たなビジネスチャンスと受け止め、早期の事業承継へ導くためのセミナーを開催した。 終了後、個別相談を開催した。個別相談参加者（2名） セミナー参加者 11名（10.5社）							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	事業承継への気づき、意識付けのセミナーとしてセミナーの開催。						
	②広域連携								
	③市町村連携	相続税に関する意識付けに関連した市役所、税務課にてチラシを配布。							
	④相談相乗	相談事業相乗効果 セミナー参加者へのアンケートや聞き取り後、相談事業につなげる。カルテ化（4件）							
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	10.5	支援実績率	52.5%	満足度	81.8
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	受講者アンケートの結果によると研修（交流会）の満足度は『満足』…2名、『ほぼ満足』…8名、『普通』…1名、『やや不満』『不満』は0名であり満足度は81.8%となった。セミナー内容の理解度は『よく理解できた』…2名、『ほぼ理解できた』…7名、『理解できた』…1名『ほぼ理解できなかった』…1名『理解できなかった』は0人となり、研修会の内容はほぼ理解してもらえたと感じている。また個別相談会では、話しをじっくり聞いて頂き、相続に対する知識が広まったとお言葉を頂いた。							
		指標	相続や事業承継の基礎知識の理解度						
		数値目標	70%	実績数値	78.1%	目標達成度	111.6%		
	成果の代表事例	後継者に事業を引き継ぐタイミングをさらなる事業の発展や新しい取り組みを実現するチャンスと捉えてもらう事が出来た。事業承継の色々な知識を持つことが大事だとあらためて感じて頂く事ができた。							
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	個人事業主と法人企業の代表者、後継者の方と参加して頂き、1部は相続について早い内の対応が必要と理解して頂いた。第2部では事業承継（企業で親から子、経営者から従業員）をメインに話をして頂き、それぞれ理解して頂いた。どちらも大変重要な問題であり、知識が必要であり、参加者の方からは大変参考になったとお言葉は頂いた。1部、2部と1時間弱のセミナーではどちらも基本的な話だけで終わってしまった。もう少し色々な承継例を含んだセミナーが必要と感じた。							

摂津市商工会

事業名		承継・創業経営者交流研修〔北摂地域連携！起業家×企業家交流会！〕						
想定する実施期間		23 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	事業承継者や創業者は、様々な問題を乗り越える為の知識や解決力が十分には備わっておらず、経営がうまくいっていないケースが多い。創業ないしは事業を承継して1～5年くらいの経営者に、新しい革新的な発想で経営の方向性を変えていく経営課題に共に取り組むことで、自社の課題と問題点を発見し、広域による企業同士で知的・人的ネットワークを広げ、改めて自社のあるべき方向性を検討することを目的とする。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪三島地域に属する全業種事業所市内事業所の経営者、創業期（創業1年から5年）安定期、安定下降期、下降期等の企業のライフサイクルに入っている企業経営者						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>■開催日時：第1回 令和2年 8月26日（水）19：00～21：00 第2回 令和2年 9月 7日（月）10：00～12：00 第3回 令和2年10月 7日（水）13：00～14：30 第4回 令和2年11月13日（金）14：00～16：00</p> <p>■会場：第1～4回 摂津市商工会+オンライン</p> <p>■テーマ：アフターコロナ&withコロナに立ち向かう新しいビジネスの創造</p> <p>■事業内容：コロナ禍の中で人と人が対面する機会が失われ多くの方がコミュニケーション不足による孤立感、将来への不安感を抱えている。コミュニケーションが不足することで新しいアイデアが生まれにくくなっている。そこで一躍注目されている『オンラインミーティング（Zoom）』を使ったグループワークや様々なアイデア発想法を学び新しいビジネスの創造をめざしてもらった。大きな変化にも対応できる力を身に付け事業承継・創業に繋げてもらう。</p> <p>■参加者数：22名 内訳：第1回 4事業所4名、第2回 6事業所6名、第3回 6事業所6名、学生23名 第4回 6事業所6名</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>						
		①府施策連携	大阪府経営支援課経営支援グループとの連携、事業承継に関する気づきをもってもらい、セミナー時には事業承継診断を行う。					
		②広域連携	摂津市商工会が幹事で、高槻商工会議所、茨木商工会議所、吹田商工会議所、島本町商工会にて受講者を募集。全4回開催運営は摂津市商工会が担当。茨木商工会議所も当日参加。					
		④相談相乗	交流も目的としているので、近隣の事業所と交流することによって、新たな連携や販路開拓も目指す。また、専門家による相談事業にもつなげる。					
計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	40	支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	40.0%	満足度	100.0
事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	支援企業数の内訳は、高槻1社、茨木2社、吹田1社、島本0社、摂津2社、その他10社であった。今回のセミナーの受講者アンケートでは、全4回で、延べ22名中14名が「満足」、8名が「やや満足」で「どちらとも言えない」「やや不満」「不満」はゼロで、満足度100%とかなり高い満足度となった。また、研修会の内容が理解できましたかという問いに対して、「理解できた」が18名、「どちらかといえば理解できた」が4名で参加者全員が理解しており、講師の説明も分かりやすかった。そして、今後の事業拡大に活用しようと思いますがという設問に対し、「活用していきたい」が17名、「活用を検討したい」が5名と参加者全員が今後の活用に意欲を見せている。本セミナーは摂津市商工会で初めてZoomを用いてオンラインセミナーを開催した。来場してもらい会場でZoomの使用方法を指導しながら行ったためオンラインが初めての方でも安心してご参加いただけた。コロナ禍で大きな変化が起こっているがどう対応していくかが今後のビジネスに大きく影響してくると思われる。実際対面しての交流とは違いコミュニケーションを取るの難しい面もあるが参加者の中には新たな事業のヒントを掴めたとおっしゃってる方もおり、他者との共有・共感をはアイデア発想するには重要なことであると改めて感じた。コロナ禍であり今までのようには出来ないこともあるが、交流会は今後も続けていき、新たな事業・連携のきっかけ作りをしていきたい。						
	指標	事業改善又は新規事業取組に対する意識改革度						
	数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125.0%		
成果の代表事例	セミナーに参加された数社はコロナ禍で対面営業ができないため、今回講座で使用したオンラインを用いて新たな形で事業を継続していきたいとのこと。							
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	コロナ感染拡大防止のため、初めてオンラインを使ってのセミナーを開催した。来場してもらいオンラインを使ってワークや交流を行った。参加者の満足度・理解度は高かったがコロナ禍ということもありキャンセルが多く、参加人数が少なかった。今後は会場+事業所・自宅からオンライン参加ができるようにし、参加者を募りたい。参加者は起業者・承継者・就職活動を控えた学生など立場や企業規模が違うなど多様な中で自社の分析も大切だが他者からの意見や提案を受けれることも好評であるので新たな事業の発掘や育成を行えるようなテーマを設定し、集客ができるものを実行していきたい。						

摂津市商工会

事業名		クラウドファンディング活用セミナー							
想定する実施期間		23年度～年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>中小企業や個人事業者が新たな商品開発や新事業展開時、また社会的課題やニッチな市場に対する新サービス展開時に金融機関から資金調達する場合、既存事業の決算内容による可能範囲額の融資しか受けることができず、経営余力のある事業所でないとなりと取り組みが難しい現状にある。</p> <p>新たな資金調達手段となるクラウドファンディングは不特定多数の個人から少額の出資を募ることができるため、この資金面での課題解消に有効である。その一方で、クラウドファンディングで出資を募るためには、出資者である個人にSNSなどを通じていかに共感や興味をもたれるような商品や事業を展開するかが非常に重要になる。そこで、普及・啓発セミナーを開催し、手法を学んでもらうとともに、クラウドファンディングによって、社会の課題に対する必要度やニーズを事前にマーケティングすることができるツールとしても活用を促進する。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津、茨木、高槻、吹田、島本および周辺地域の全事業所の事業主および担当者。創業者及び創業予定者。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>中小企業も個人事業主も誰でもできる！クラウドファンディングにチャレンジ！クラウドファンディング活用セミナー</p> <p>■開催日時：令和3年2月9日（火）10:00～13:00</p> <p>■会場：摂津市商工会会議室＋ウェブ配信</p> <p>■内容：アンケート</p> <p>最新のクラウドファンディング活用方法 クラウドファンディングの基礎 プラットフォームの選び方 クラウドファンディングは資金調達ではない！？ クラウドファンディングのコツ（準備とスタートダッシュ） 事例紹介 ワークショップ</p> <p>■個別相談 2/9（火）3件、2/16（火）4件</p> <p>■参加者数：40事業所40名</p>							
		<p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携	大阪府商業・サービス産業課新事業創造グループとの連携、メルマガ等でPRしていただいた。						
	②広域連携	摂津市商工会が幹事で、高槻商工会議所、茨木商工会議所、吹田商工会議所、島本町商工会にて受講者を募集。開催当日において、各所担当者が協力して運営を行った。							
	③市町村連携	摂津市、摂津市男女共同参画センターに摂津市広報等で創業者、創業希望者に周知をしていただいた。							
	④相談相乗	ワークショップを通じて自身のイメージのブラッシュアップを行い、専門家による相談事業にもつなげる。カルテ化件数7件。							
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	40.0	支援実績率	133.3%	満足度	97.5
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>支援企業数の内訳は、高槻2社、茨木5社、吹田5社、島本0社、摂津9社、その他19社で参加者の76%が企業で20%が創業または創業希望者であった。今回の受講者アンケートでは、回答があった40名中18名が「満足」、21名が「やや満足」、1名が「やや不満」と回答し、「不満」はなく満足度97.5%であった。また、研修会の内容が理解できましたかという問いに対して、「理解できた」が30名、「どちらかといえば理解できた」が10名、「どちらかといえば理解できなかった」「理解できなかった」はなく、100%が大体理解できており、講師の説明も分かりやすかった。そして、今後の事業拡大に活用しようと思いますがという設問に対し、「活用していきたい」が17名、「活用を検討したい」が21名、「あまり活用したくない」が1名、「活用しない」が1名、と95%が活用に意欲を見せている。本セミナーは小規模事業者や学生が挑戦した実際のクラウドファンディングのプロジェクト話を直に聞いて、ワークショップで自身の持っているアイデアをアウトプットすることで、自身や自社のビジネスにどのように活用するか具体的にイメージしてもらい、活用検討に至るファーストステップとなったと思われる。</p>							
		指標	参加企業のうちクラウドファンディング活用検討に至った企業数						
		数値目標	10	実績数値	38	目標達成度	380.0%		

	<p>成果の代表事例</p>	<p>受講企業名：A社 A社は彫刻の芸術品の製作、飲食店を経営している。当該事業所は新型コロナ前から大学生ボランティアと共同で町おこしのチャレンジショップを吹田駅前で行っていたが、新型コロナで中止となってしまった。そのため、コミュニティづくり及び大学生の共感・経験作りの一環で協力店舗100店舗を目標にクラウドファンディングを活用して、イベントの継続を目指す。</p>
<p>実施結果</p>	<p>課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)</p>	<p>クラウドファンディングは、国の補助金の加点要件になるなど、ブランド力のない小規模事業者でも自らができるマーケティングや販路開拓の手段としての役割の方が重要になってきている。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、共感を呼ぶクラウドファンディングには注目が集まった。しかし、実際に小規模事業者がプロジェクトを成功させるのはきめ細やかなノウハウも必要となるので、今回のセミナー講師のようなクラウドファンディング支援事業者を利用することで、小規模事業者や創業者のプロジェクト達成をより高い精度にできるように、今後もセミナーで最新の情報や有益な活用方法を提供して進めていき、検討する企業を一社でも多く出していきたい。</p>

摂津市商工会

事業名		人財力強化（人材育成）セミナー																																							
想定する実施期間		25 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>今後の小規模事業者の成長を支える上で、人財（従業員は会社の財産）力の強化や活躍の場づくりが今後最も重要だと考えられる。とりわけ小規模事業者については、摂津市全体約4249事業所のうち2978事業所と全体の70%を占めており、茨木市全体で9132事業所のうち5889社と全体の64%を占めている。(経済センサス調べ)</p> <p>現状で、業種を問わず従業員の雇用及び雇用維持が問題となっており、これらの小規模事業所については、人材募集しても応募が無い「人材不足」、雇ったとしても続かない「育成才力不足」の問題が顕著となっている。</p> <p>このため本セミナーをおし事業主・管理職・従業員を中心とした支援を行い、安定した雇用確保と定着による業績向上をめざしてもらう。また雇用機会の創出として「OSAKAしごとフィールド」の企業向け支援事業の紹介を実施することで小規模事業者の人材確保と育成を支援する。</p>																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市・茨木市の各事業所および周辺事業所の事業主および従業員																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日時：令和3年1月29日（金）14：00～16：00 場所：摂津市商工会 講師：YT（株）YP代表 内容：給料や命令だけではできないモチベーションを高めて人材育成をする方法 参加社数：11社（11名）※応募数15名</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">おおさかしごとフィールドの紹介および利用促進を行った。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7">茨木商工会議所と連携（募集活動・当日の準備・片づけ作業）</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">市産業振興課窓口において、セミナーチラシを配布</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">他事業においてカルテ化（カルテ件数0件）</td> </tr> </table>								①府施策連携	おおさかしごとフィールドの紹介および利用促進を行った。							②広域連携	茨木商工会議所と連携（募集活動・当日の準備・片づけ作業）							③市町村連携	市産業振興課窓口において、セミナーチラシを配布							④相談相乗	他事業においてカルテ化（カルテ件数0件）						
	①府施策連携	おおさかしごとフィールドの紹介および利用促進を行った。																																							
②広域連携	茨木商工会議所と連携（募集活動・当日の準備・片づけ作業）																																								
③市町村連携	市産業振興課窓口において、セミナーチラシを配布																																								
④相談相乗	他事業においてカルテ化（カルテ件数0件）																																								
計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	11	支援実績率	55.0%	満足度	88.6%																																	
事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>支援実績率は低かったものの、今回のメインテーマである組織開発について理解いただいた事業所が多く感じられた。</p> <p>このセミナーを自社で役立てたようと思った方の割合が非常に高く、自社へのフィードバックがかなりの割合で期待できると感じた。</p> <p>また他社との情報交換についても役にたったと感じていただいた事業所が非常に多かった。</p>																																							
		指標	セミナーの内容を自社で取り組もうと考えた事業所の割合																																						
		数値目標	70.0%	実績数値	81.8%	目標達成度	116.9%																																		
事業の実績／目標達成度	成果の代表事例	H工業において、現状家族経営であるが、これから従業員を増やしていくために、今回の内容である組織開発の考え方を取り入れ、選んでもらえる企業作り、働きたい思考作りを浸透していきたいとの回答があった。																																							
	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>人材育成については、どの事業所も悩んでおられる状況はうかがえる。時代にあった人材育成方法を模索し、開催する必要がある。</p> <p>今回のセミナーを通じて、経営者や管理者向けだけでなく、従業員のモチベーションの向上や意識改革に対応した内容も検討すべきと感じた。</p> <p>今回、緊急事態宣言中での開催となり、参加者が多く集まらず、会場2名とその他9オンラインでの開催となった。</p> <p>人材交流はブレイクアウトルームの活用により、実施できたが、今回のオンライン開催は講師側での設定等になったので助かった部分がある。今後の実施方法も踏まえ、担当者である自身のレベルアップが必要と感じた。</p>																																							

摂津市商工会

事業名		労働法改正セミナー～労務担当者が知っておくべきこと～																																							
想定する実施期間		2 年度～ 2 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>残業時間の年間360時間以内の義務化、年次有給休暇の年間5日以上の取得義務付けなどの「働き方改革」について現在、事業所の対応が必要です。商工会、会議所にも36協定の新様式のへの相談、有給5日の相談、同一賃金同一労働の相談などが増えています。</p> <p>これらの内容を事業所が理解するためには基本的な労務管理や労働保険、社会保険、労働法等の基礎知識が必要です。そこで本セミナーを実施することにより基礎的な知識から、最新の情報まで紹介します。セミナーでは実践の現場の情報を多く取り入れることにより自社について考えてもらい、労働者に長く働いてもらう環境を自ら作ることができるようになることを目的とします。それにより、経営を労務面からも安定させることができます。</p>																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	小規模事業者の事業主並びに人事・労務担当者																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日時：令和2年9月17日(木)・9月24日(木)・10月6日(火) 14:00～17:00</p> <p>場所：摂津市商工会</p> <p>内容：テーマを「雇用保険・社会保険(適用編)」「雇用保険・社会保険(給付編)」「最新の法改正・労務トピックス」に分けて開催する。3回のセミナーで従業員管理の基礎的な手続きから今年度の法改正の重要項目である「働き方改革」の紹介、実務の対応方法の提案までを行う。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">大阪府総合労働事務所等との連携して、セミナーを実施する。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7">「摂津市商工会」と「茨木商工会議所」で連携をとる。各テーマによって講師は茨木と摂津でそれぞれ選定する。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">セミナー終了後に監督署の是正勧告への対応方法等の相談を受ける。カルテ化2件。</td> </tr> </table>								①府施策連携	大阪府総合労働事務所等との連携して、セミナーを実施する。							②広域連携	「摂津市商工会」と「茨木商工会議所」で連携をとる。各テーマによって講師は茨木と摂津でそれぞれ選定する。							③市町村連携								④相談相乗	セミナー終了後に監督署の是正勧告への対応方法等の相談を受ける。カルテ化2件。						
	①府施策連携	大阪府総合労働事務所等との連携して、セミナーを実施する。																																							
②広域連携	「摂津市商工会」と「茨木商工会議所」で連携をとる。各テーマによって講師は茨木と摂津でそれぞれ選定する。																																								
③市町村連携																																									
④相談相乗	セミナー終了後に監督署の是正勧告への対応方法等の相談を受ける。カルテ化2件。																																								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	50	支援企業数(実績)	52.5	支援実績率	105.0%	満足度	84.8																																
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>労働保険、社会保険の基本的な手続きの方法から入り、労働基準監督署の対応方法、働き方改革の実例による対策の提案を説明した。特に、「働き方改革」の年間5日の有給休暇義務化や同一賃金同一労働は大きなテーマであり、商工会にも相談が多い。セミナーではまず、制度の説明をした後に、他社での取り組み事例を紹介した。また、コロナ禍での急激な労務環境の変化としてオンライン会議、テレワーク、自転車通勤の増加などが増加したため、それらに対応したアドバイスを行い参加者にも好評を得た。セミナー参加後、自社の制度の見直しに取り組んでいる事業所がある。</p> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td colspan="7">労務管理の見直しに役立つと思った事業者の割合</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>70</td> <td>実績数値</td> <td>80</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="3">114.3%</td> </tr> </table>								指標	労務管理の見直しに役立つと思った事業者の割合							数値目標	70	実績数値	80	目標達成度	114.3%																		
指標	労務管理の見直しに役立つと思った事業者の割合																																								
数値目標	70	実績数値	80	目標達成度	114.3%																																				
	成果の代表事例	参加企業の1社は同一賃金同一労働への理解していなかった。本セミナーを利用していただき就業規則の見直しが必要とわかり取り組まれるとのこと。																																							
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加企業のアンケートを見ると満足度は高く、また受講者は多かった。これは働き方改革など最近の労務関係は毎年変わっている中で問題点、変更点を講師がわかりやすく説明できたからだと思います。今年度は初めてWEBを取り入れ、今後も継続していきたい。それができれば、会場場所の問題、開催時間の問題によりこれまで参加出来なかった層を取り込めるためニーズは高いと思われる。																																							

摂津市商工会

事業名		アフターコロナにおける新しい働き方 ～テレワークの導入について～																																							
想定する実施期間		2 年度～ 2 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>現在、コロナの影響により大企業を中心にテレワークが始まっている。また、厚生労働省のホームページ（注）の新しい生活様式の実践例の中の働き方の新しいスタイルにテレワークやローテーション勤務、会議はオンラインが掲載されており、中小零細企業においても、人材を定着させるためにテレワークが有効な手段として考えられる。しかし、このような現状の中で中小零細企業の事業主や人事担当者がテレワークについて対応方法を知る機会は少ない。そこで、テレワークについての対応方法を理解してもらい、自社の従業員の定着を図ることを目的としたセミナーを開催する。受講いただいた結果、人材が定着し会社が安定する。</p> <p>注：参考URL https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html</p>																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	中小企業、零細企業の事業主、人事担当者																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日時：令和2年11月18日（水）14:00～16:00 場所：ZOOM上 講師：（社会保険労務士） 内容：アフターコロナにおける新しい働き方 ～テレワークの導入について～ このセミナーは、</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">(a) 府施策連携労11番（コロナパッケージ）</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7">(b) 広域連携「四條畷市商工会」と「摂津市商工会」で連携をとる。講師については、摂津で選定する。案内等は、四條畷と摂津で協力してPRを行なう。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">カルテ化 2件</td> </tr> </table>								①府施策連携	(a) 府施策連携労11番（コロナパッケージ）							②広域連携	(b) 広域連携「四條畷市商工会」と「摂津市商工会」で連携をとる。講師については、摂津で選定する。案内等は、四條畷と摂津で協力してPRを行なう。							③市町村連携								④相談相乗	カルテ化 2件						
	①府施策連携	(a) 府施策連携労11番（コロナパッケージ）																																							
②広域連携	(b) 広域連携「四條畷市商工会」と「摂津市商工会」で連携をとる。講師については、摂津で選定する。案内等は、四條畷と摂津で協力してPRを行なう。																																								
③市町村連携																																									
④相談相乗	カルテ化 2件																																								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	35	支援企業数(実績)	15.5	支援実績率	44.3%	満足度	87.1																																
事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	このセミナーを受講することによりテレワークについて基本的なことを理解できるようになる。その結果、アフターコロナ後も人材を活用でき、業績UPにつながります。																																							
		指標	テレワークについて理解できた事業者の割合																																						
		数値目標	70%	実績数値	87.1%	目標達成度	124.4%																																		
事業の実績／目標達成度	成果の代表事例	セミナーを通じて、テレワークの導入についてより具体的に行動（個別に社会保険労務士に相談）するようになった。																																							
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	Webセミナーであれば、申し込みをしてもらっても参加する事業者の数は少なくなりやすいので、できる限り参加してもらえるように取り組みたい。後日、セミナーを録画配信したが、閲覧回数は30回以上を超えているがアンケートの回収率が良くないため、閲覧した人を追いかけるシステムを導入する必要がある。（希望者のみ配信、閲覧者を番号で紐づけする等）																																							